

健康福祉委員会で質問しました！



年度途中の待機児童解消のため 保育所入所予約制度を全県下に！

県の答弁 育児休業取得後、子どもが1歳になったら保育所にはいれるよう事前に予約できる予約制度は、保護者のニーズにこたえる制度で、入所できるかどうかの不安を解消し、安心して職場復帰できる環境を整えるものであり有効な取り組みである。名古屋市が実施している他、豊川市でも来年度実施予定。国も来年度予算要求に盛り込んだ。制度周知に努めたい。



赤ちゃん置き去り事件を受けて 妊娠期サポート体制の充実を！！

県の答弁 妊娠・出産など悩みを抱えている方に対し、「女性の健康なんでも相談」がある。(月～土曜日・090-1412-1138 13:30～16:30)「妊娠したかも・・・でもどうすればいいの？」というチラシを配布するなど周知に努めている。妊娠初期の段階で支援が必要となる方を医療機関が把握した場合は、市町村に連絡するように努めることとしている。連携し適切な支援を行いたい。



地域包括ケアシステムの充実に 向けて、医療と介護の連携は

県の答弁 在宅医療において、情報通信技術を用いた情報共有システムを導入し、医療・介護の関係者の間で情報共有することは、適切なサービスを提供することにつながるものと考えている。平成29年度末までに県内すべての市町村でシステムが整備されるよう、働きかけていく。豊川市などのモデル事業の取り組みは、報告会等広く情報提供していく。



子ども発達支援センターの設置を 県下でもっと進めるべき！障害児 放課後等デイサービスの質の向上を！

県の答弁 10万人以上の市で児童発達支援センターが整備されていないのは、豊川、稲沢、小牧市の3市。児童発達支援センターは地域の障害児支援の中核施設と位置付けている。放課後デイサービスの事業所は、平成26年4月の365か所が28年4月には618か所と大幅に増加しており、やはり質の確保が課題であると認識している。今年度、障害児等療育支援事業実施施設が技術的支援や助言を行えるように見直し改善を図る。

りえのひとこと

豊川市で来年度から保育所入所予約制度がスタートします。市では、ここ数年、4月当初は待機児童はゼロですが、それ以降増えてしまう状況でした。予約制度は、この状況の改善につながります。また、4月入所に合わせて産休期間を早めに切り上げなくてもよくなりますし産休明け直前に保育所を必死で探す必要もなくなります。良い制度を始めて下さる豊川市を誇りに思います。市民の方にはぜひ制度を活用して頂きたいと思います。



愛知県議会議員

おおたけりえ



県政レポート vol.007

〒442-0854 豊川市国府町流霞59-2
TEL.0533-80-1055 FAX.0533-80-1056

県が「子どもの貧困実態調査」を実施

～貧困の連鎖を防ぐ対策に繋ぐよう期待～

皆様、いかがお過ごしでしょうか。「子どもの貧困対策」について、昨年3月の健康福祉委員会一般質問にて「対策をしっかりと進めるために、実態調査を行うべき」と提案しましたところ、その実施が決定しました。民進党県議団の中でも「子どもの貧困問題研究会」プロジェクトチームがつくられており、私もメンバーの一員として、現場の方の声を伺い、施策の勉強会を行っています。実態調査の結果を踏まえ、貧困の連鎖を防ぎ、子どもたちの能力が存分に発揮される社会となるよう、取り組んでまいりたいと思います。

「愛知子ども調査」と「ひとり親家庭等実態調査」

経済的に困窮している家庭における生活実態や様々な課題を把握し、実効性のある子どもの貧困対策を行うため、県内全域において実施し、子供の生活実態や子育て支援のニーズ、経済的な要因が及ぼす影響等を調査する。

- ①愛知子ども調査 対象：小学校1年生の保護者、小学校5年生の子どもと保護者、中学校2年生の子どもとその保護者 計35,000人
- ②ひとり親家庭等実態調査 対象：県内在住のひとり親および寡婦 計6,500人

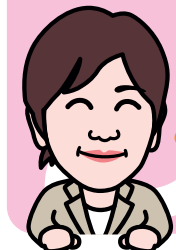
【スケジュール】

- 平成28年10月 子どもの貧困対策検討会議でアンケート項目の精査
- 12月 調査票配布、回収
- 平成29年3月 集計結果の公表
- 4月以降 集計結果の分析、最終報告書公表



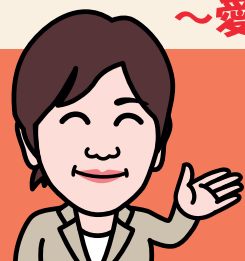
りえのひとこと

子どもの貧困率は16.3%。中でもひとり親世帯では50.8%に達します。働く母親の多くが非正規雇用で、年間収入が200万円以下の方が全体の6割を占める状況です。親の経済状況で子どもたちの将来の夢や可能性が奪われてしまわないよう、行政施策ももちろん大事ですが、子ども食堂やフードバンクの取り組みなど地域で助け合い、支え合う活動が広がっていることは素晴らしいことだと思います。



ご意見・ご感想などをお寄せください ●ホームページ——— <http://www.ootakerie.jp>
●発行 おおたけりえ事務所 〒442-0854 豊川市国府町流霞59-2 TEL.0533-80-1055 FAX.0533-80-1056

～愛知県政全体のトピックスをご報告します～



熊本震災を踏まえたマニュアル見直し等

のための補正予算が成立しました！

補正予算金額 一般会計 52億2981万円、企業会計 3325万円

補正後合計 3兆4491億2923万円

1 災害時における支援物資の受援供給体制の検証と 避難所運営マニュアルの見直し 265万円



平成28年熊本地震で、自治体の集積拠点に物資が滞留し、避難所で食料や物資が不足したことや、避難所の収容能力を超える避難者が発生し、車中泊や避難所の廊下等で生活する者が多数発生したことなどから、災害時広域物資輸送拠点の開設訓練の実施や、熊本県に派遣された保健師や市町村職員、被災地で支援活動を行ったボランティア団体職員、有識者等の意見を聞き、避難所運営マニュアルを見直します。

2 医療人材、介護人材の確保 11億5383万円

意欲のある高齢者等と介護事業所等のマッチングを行う人材バンクの創設や、介護ロボット導入への助成、介護支援専門員等の研修を実施。在宅医療における他職種連携推進の研修、訪問看護ステーションの看護職員の研修助成、薬局・薬剤師・歯科医師等へ在宅医療推進のための研修実施。病院総合医の養成及び地域枠医師のキャリア形成支援。地域医療連携を推進する人材を養成するための研修を実施します。



3 交通死亡事故抑止に向けて交通安全対策を強化 1億3013万円



交通事故死者数は全国ワースト1位と厳しい状況であるため、交通事故多発交差点の信号灯器のLED化等交通安全施設を緊急整備。可搬式速度違反自動取締装置による事故多発路線での速度違反取り締まりを実施します。

意見書を国に提出しました 給付型奨学金の創設、無利子奨学金の拡充を！



奨学金を借りたものの、卒業後の収入が安定せず、奨学金の返済に悩む人は少なくありません。学ぶ意欲のある若者が経済的理由で進学を断念することがないよう、給付型奨学金を創設するとともに、希望するすべての学生に無利子奨学金が貸与できるようにするため、愛知県議会として全会一致で国に意見書を提出しました。



花を贈ろう！「花の王国あいち」

私たちの住む豊川市は、バラ、スプレーぎく、シクラメンなどの花の生産がとても盛んです。愛知県全体では、花きの産出額は昭和37年からずっと全国1位です。愛知県では、近年花の消費量が減っていることから、需要拡大の取り組みに力を入れています。「花いっぱい県民運動」、花を贈るフラワーバレンタイン、花育、「あいち花フェスタ」の開催など、力を入れています。日々の暮らしに花があることで、心が豊かに、暮らしに潤いが生まれます。記念日やイベント、特別な日の贈り物などには、ぜひ、豊川産の花はいかがでしょう。



あいちの農産物の目印！「いいともあいち運動」

みなさん、右のシンボルマーク、ご存知ですか？ これは、「愛知県産」の農産物であることを示すマークです。私たちの住む豊川市は、大葉、いちご、トマト、はくさい、メロン、米、畜産など、県内でも有数の農業が盛んな地域です。地元の新鮮でおいしい農産物を食べるのは、健康増進や食育にもつながります。愛知県産農林水産物の販売や利用に力を入れている店舗や飲食店などでも使用されています。

このマークを見つけたら愛知県産！です。ぜひご活用ください。



手話言語の普及及び障害の特性に応じたコミュニケーション 手段の利用の促進に関する条例が制定されました！



すべての県民が、障害の有無にかかわらず相互に人格と個性を尊重し合いながら共生し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指し、総合的な施策を推進するものです。手話、要約筆記、点字、触覚を使った意思疎通、筆談、代筆、音訳、平易な言葉、代読、実物又は絵図の提示、重度障害者用意思伝達装置等、相互理解の手段の普及を目指します。

りえのひとこと

この条例の制定により、今まで不便を感じていた行政の窓口やいろいろな所での対応が広がります。つまり、基本的な手話のできる人が窓口に配置され、便利になっていくと思います。何かご要望などありましたらお気軽にご相談ください。

